

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.10.22時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R／B	2号機R／B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134: 200～340 Cs137: 650～1100 全β: 920～1900 Sr90: 10～20 H3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,300 (2020.9時点)	Cs134: 2.0E0 Cs137: 4.0E1 (2020.8.14)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する)
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約6,000 (2020.9.17時点)	Cs134: 7.7E0 Cs137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9)	—	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137: 2.0E3～1.6E7 Sr90: 5.3E3～4.3E7 (2017.2～2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水／溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水／溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	0 (2015年8月水抜き完了)	—	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク(角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー／濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を実測して算出
8	淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク(横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—	撤去済
9	5. 6号機逆洗弁ビット及び吐出弁ビット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット	5号機スクリーン近傍	約550	(2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.4E0	
		・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット	6号機スクリーン近傍	約850	(2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.7E0	
		・5号機逆洗弁ビット	5号タービン建屋海側	約1,500	(2016.10.3) Cs134: 3.0E0 Cs137: 1.9E1	
		・6号機逆洗弁ビット	6号タービン建屋海側	約1,500	(2016.10.3) Cs134: 1.5E0 Cs137: 1.1E1	
10	1～4号機T／B屋根	・1号機T／B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T／B上屋】 Cs134: ND Cs137: 4.9E1 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	
		・2号機T／B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T／B上屋】 Cs134: ND Cs137: ND 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.10.22時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134: 2.9E+4 Cs137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,850 (2020.3.19)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2020.7.7) (2020.8.4) H3: 5.1E5 4.2E5 Sr90: ND ND 【2号CSTタンク貯留水】 Cs134: 1.6E+02 Cs137: 1.7E+03 (2018.12.14)	2020.3.18より炉注水源としての運用開始 (1～3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,800 (2020.1.16)	全β: 1.5E+03 (2018.12.19) 【3号CSTタンク貯留水】 (2020.7.16) Cs134: 1.9E+2 Cs137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H3: 7.5E+5	RO処理水を貯留 (1～3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	0	—	水抜き済
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 7.1E3 1.0E4 (2020.8.4) (2020.10.6) H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 6.4E3 7.5E3 (2020.8.5) (2020.10.7) H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.4E4 3.6E3 (2020.8.7) (2020.10.9) H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1～4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1～4号機周辺	約1～170 (2019.12)	Cs134: ND～4.2E2 Cs137: 2.5E2～6.9E3 全β: 2.2E2～3.4E3 H3: ND～3.5E3 (2019.12)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2019年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.10.22時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
23	2～4号機DG連絡ダクト	・2～4号機DG連絡ダクト	2～4号機山側	約1,600 (2019.12)	Cs134:1.1E1 Cs137:1.6E2 全β: 1.9E2 H3: ND (2019.12.18)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋 海側	約400 (2019.12)	Cs134:ND Cs137:6.2E1 全β: 9.3E1 (2019.12.20)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋 海側	0 (2019.8.2時点)	—	水抜き・充填済 (建屋接続部近傍を含む)
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋 海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立抗D上部に水が無いことを 確認(2019.12.2時点)	—	充填済 (立抗D上部を除く) 立抗D上部充填作業一時 中断中
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋 海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近 傍の開口部に水が無いことを確認 (2019.9.27時点)	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建 屋接続部近傍の開口部 を含む)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2019.12)	Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β: 4.4E2 H3: ND (2017.10)	
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北 側	充填完了		充填済
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1～830 (2018.12)	Cs134:ND～2.3E1 Cs137:7.0E0～2.7E2 全β: 5.4E1～7.2E2 H3:ND～1.7E3 (2018.11～2019.1)	量及び放射性物質濃度 の内訳は添付資料(2) 「2018年度トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧」 を参照
29	1～4号機サブドレンビット No.15,16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20	No.16 Cs134:3.1E4 Cs137:5.5E5 全β: 6.9E5 H-3: 8.3E3 (2020.7.15) 1.6E4 3.6E5 4.1E5 2.1E3 (2020.9.9)	
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	No.47,48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β: 7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.10.22時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
31-1	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット	1号タービン建屋海側	0 (2020.6.30)	—	水抜き・充填済
		・2号機逆洗弁ピット	2号タービン建屋海側	0 (2020.8.27)	—	水抜き・充填済
		・3号機逆洗弁ピット	3号タービン建屋海側	0 (2019.3.28)	—	水抜き・充填済
		・4号機逆洗弁ピット	4号タービン建屋海側	約1,400 (2018.12.12)	(2018.12.12) (2020.8.27) Cs134: 6.7E1 7.1E1 Cs137: 8.2E2 1.4E3 全β: 1.0E3 1.5E3 H3: 1.2E2 1.5E2	
31-2	1・4号機吐弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐弁ピット	1号タービン建屋海側	0 (2015.11)	—	水抜き・充填済
		・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐弁ピット	4号タービン建屋海側	0 (2015.10)	—	水抜き・充填済
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海側	約4,200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 (2020.9.14) (2020.10.19) Cs134: 7.0E1 2.8E2 Cs137: 1.5E3 5.4E3 全β: 1.8E3 6.4E3 H3: ND 1.6E2	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2～4号機タービン建屋海側	約3,600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 (2020.9.14) (2020.10.19) Cs134: 3.0E1 4.4E1 Cs137: 6.8E2 9.6E2 全β: 8.8E2 1.3E3 H3: ND ND	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3～4号機タービン建屋海側	約1,600 (2018.12.17)	Cs134: 3.1E1 3.7E1 Cs137: 6.3E2 4.7E2 全β: 6.5E2 5.6E2 H3: ND ND (2020.8.5) (2020.9.9)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs134: 7.2 Cs137: 23 I-131: <4.3 Co-60: <4.2 全γ放射能: 3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,040 (2020.9.10)	(2020.8.5) (2020.9.9) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: 3.1E2 3.0E2	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,630 (2020.9.10)	(2020.8.13) (2020.9.10) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: ND ND	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1,900 (2015.10～2016.1)	Cs134: ND～2.2E2 Cs137: ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.10.22時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134:ND Cs134:ND～3.5 全β:ND～4.8 H-3:ND～140 (採水期間:2017.10～2018.3)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134:1.0E+1 Cs137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs134:8.0E+4 Cs137:1.6E+5 Co60:6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND～8.5E1 (2020.9.16)	ND ND～4.4E1 (2020.10.21)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	0 (2020.2.20)	No.5VOID Cs134:ND Cs137:2.7 Sr90:ND H3: ND (2017.2.16)	水抜き完了
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134:2.1 Cs137:7.2 全β:12.2 H-3:ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約9,610 (2020.9.17時点)	【5号機】 Cs134:ND Cs137:ND H3: ND 全β: ND (2020.8.19) ND ND ND ND (2020.9.16) 【6号機】 Cs134:ND Cs137:2.6E0 H3: ND 全β: ND (2020.8.20) ND 2.5E0 ND ND (2020.9.17)	
46	排気筒ドレンサンプピット	・1/2号排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約0.3※ ※適宜溜まり水の移送を実施	(2020.7.29) 全β:2.1E6 Cs134:1.2E5 Cs137:2.4E6 (2020.8.28) 8.9E6 4.3E5 9.2E6	2019.10.12以降に水位低下傾向が見られることを確認。 (2019.11.27)
		・3/4号排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約2	(2019.12.24) 全β:7.8E2 Cs134:3.7E1 Cs137:5.8E2	
		・5/6号排気筒ドレンサンプピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	(2020.3.12) 全β:2.2E1 Cs134:ND Cs137:2.0E1	
		・集中RW排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約10	(2020.5.20) 全β:2.7E2 Cs134:ND Cs137:2.2E2	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6～8号棟)	約200	Cs-134:ND Cs-137:5.3E+1 全β:4.8E+1 (2017.11.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.10.22時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
48	5, 6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5～6号)	物揚場 北側	<タンク> 0 (2019.11.21) <雨仕舞> 0 (2019.12.5) <ポンプ室> 0 (2019.12.12)	—	水抜き完了
49	5号R／B西側ヤードドラム缶	ステンレス製ドラム缶(内袋付)	5号R／B西側ヤード (水素ガストレーラーエリア)	約13	Cs134: ND Cs137: 1.4E+1 Sr90: ND H-3: ND 全β: 1.1E+01 Co60: ND (2019.5.29)	

2018年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

【別紙1-2】

・溜まり水調査結果一覧表（滞留水がある建屋に接続されていないトレンチ）

NO.	場所	今回調査(2018.11～2019.1)								
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※ ⁸	概算溜まり水量 水量(m^3)
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全 β	H-3		
2- 1	NO.1軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 2	1～2号機ケーブルダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 3	重油配管トレンチ(1号機PPゲート南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 4	1号機ボイラー室電気品室連絡トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 5	1～4号機発電機注入用室素ガスボンベ室連絡トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 6	重油配管トレンチ(1号機東側)	あり※ ²	—	—	—	—	—	—	—	6
2- 7	1号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.8	1.5E+01	1.7E+02	1.9E+02	1.9E+02	<1.1E+02	C	505
2- 8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	1.4	7.5E+00	9.5E+01	1.0E+02	1.3E+02	1.2E+02	C	293
2- 9	1号機変圧器防炎用トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 10	1号機廃液サージタンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 11	1号機オフガス配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 12	1号機活性炭ホールドアップダクト	あり	1.3	2.3E+01	2.7E+02	3.0E+02	3.2E+02	<1.2E+02	C	172
2- 13	1～4号機共用所内ボイラートレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 14	2号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.4	3.5E+00	5.8E+01	6.1E+01	7.6E+01	<1.2E+02	C	606
2- 15	2号機変圧器防炎用トレンチ	あり	3.1	1.7E+01	1.6E+02	1.8E+02	7.2E+02	1.7E+03	C	1
2- 16	2号機オフガス配管ダクト	—※ ¹	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 17	2号機廃液サージタンク連絡ダクト	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 18	2～3号機共用所内ボイラートレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 19	2号機水素ガス配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 20	消火配管トレンチ(2～3号機T/B間)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 21	消火配管トレンチ(2号機T/B南西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 22	消火配管トレンチ(2号機R/B南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 23	3号機主変圧器ケーブルダクト	あり	2.6	7.6E+00	1.1E+02	1.2E+02	1.9E+02	<1.2E+02	C	369
2- 24	3号機変圧器防炎用トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 25	3号機防炎用室素配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 26	3～4号機重油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 27	ユーティリティ配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 28	4号機海水配管(SW)埋設ダクト	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 29	4号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.0	4.5E+00	5.0E+01	5.5E+01	5.4E+01	<1.2E+02	C	828
2- 30	4号機変圧器防炎用トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 31	No.4、5軽油配管トレンチ	あり	1.2	1.2E+01	1.4E+02	1.6E+02	1.6E+02	<1.2E+02	C	19
2- 32	4号機西側電気関係連絡トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 33	4号機別棟機械室連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 34	消火配管トレンチ(運用補助共用施設東側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 35	消火配管トレンチ(SPT建屋東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	あり	1.9	<1.5E+00	7.0E+00	7.0E+00	5.7E+01	1.9E+02	C	14
2- 37	消火配管トレンチ(重油タンク西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 38	消火配管トレンチ(2号機北西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 39	消火配管トレンチ(2号機西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 40	酸素・水素配管トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 41	消火配管トレンチ(2号機南西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 42	消火配管トレンチ(共用所内ボイラー建屋西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 43	消火配管トレンチ(3号機東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 44	消火配管トレンチ(3号機北側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 45	消火配管トレンチ(3号機西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 46	消火配管トレンチ(3・4号機排気筒南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 47	消火配管トレンチ(4号機北西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 48	消火配管トレンチ(運用補助共用施設北側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 49	消火配管トレンチ(4号機西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 50	消火配管トレンチ(4号機南西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 51	消火配管トレンチ(4号機南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 52	消火配管トレンチ(放水口北側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 53	消火配管トレンチ(4号機東側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—
2-追加1	1号機逆洗弁ピット	あり	1.7	1.4E+03	1.7E+04	1.9E+04	2.0E+04	1.6E+02	C	298
2-追加2	2号機逆洗弁ピット	あり	1.8	3.9E+01	5.0E+02	5.4E+02	5.8E+02	1.6E+02	C	822
2-追加3	3号機逆洗弁ピット	あり	1.5	6.5E+02	7.5E+03	8.1E+03	8.8E+03	1.0E+03	C	828
2-追加4	4号機逆洗弁ピット	あり	1.6	6.7E+01	8.2E+02	8.9E+02	1.0E+03	1.2E+02	C	1,344
2-追加5	1号機放水路	あり	1.8	2.0E+02	2.4E+03	2.6E+03	3.2E+03	2.0E+02	C	4,166
2-追加6	2号機放水路	あり	1.7	1.0E+02	1.1E+03	1.2E+03	1.7E+03	1.7E+02	C	3,577
2-追加7	3号機放水路	あり	1.8	4.2E+01	4.6E+02	5.1E+02	5.6E+02	1.9E+02	C	1,549
2-追加8	4号機放水路	あり	1.0	2.5E+00	2.1E+01	2.3E+01	1.8E+01	<1.2E+02	C	79
※ ¹ 高線量エリアのためアクセスができない箇所 ※ ² 支障物により内部状況が確認できない箇所 ※ ³ 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所 ※ ⁴ 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所 ※ ⁵ トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所 ※ ⁶ 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所 ※ ⁷ 陸側遮水壁の影響により溜まり水の状況が確認できない箇所									計	15,476

※⁸ 溜まり水区分 A: 10^6Bq/L レベル以上
(Cs計濃度) B: 10^5Bq/L レベル
C: 10^4Bq/L レベル以下